

漢文句法3 否定・禁止（単純な否定） 【問題】

漢字	読み		訳
不・弗	―ず	―ない	
非・匪	―ニ非ズ ―ノ・ガ…（スル）所ニ非ズ	―でない ・―が…する事（物）ではない ・―が…する必要は無い	
無・莫	―無し	―が無い	

【練習】□に送り仮名を入れ、傍線部を書き下し、口語訳せよ。（ は置き字）

1 歲月不待人。

書き下し文

口語訳

2 虎不知獸畏己而走也。

（書）

（訳）

3 圉之弗克。 克勝つ

（書）

（訳）

4 使鯨鯨治之。 九載弗績。 績 実績。 成果

（書）

（訳）

5 其人弗能応也。 能…できる

（書）

（訳）

- 1 時の流れは――。 〈陶潜・雑詩〉
- 2 虎は、獣たちが自分を怖れて逃げたのだということを――のだった。 〈戦国策・借虎威〉
- 3 この城を取り囲んで攻めたが、――。 〈十八史略〉
- 4 堯は鯨に命じてこの洪水を治水させた。しかし九年たつても――。 〈十八史略〉
- 5 その人は――。 〈矛盾〉

6 無^{キハ}是非^{ぜひ}之心^の「非^レ人^{なり}也[。]」

(書)

(訳)

7 此^{コレ}天之亡^の「我^{ボスニシテ}、非^レ戰^ヒ之罪^の也^{なり}」。

(書)

(訳)

8 彼^ノ交^{まじハリ}「匪^レ傲^{おごル}」。

(書)

(訳)

9 孔子曰^{いハク}「詩云^ニ『匪^レ兕^ジ匪^レ虎^ム』」。

(書)

(訳)

10 太子^{いつハ}通^カ「非^ニ賈^カ后^{こうノ}所^ム生^ニ」。

(書)

(訳)

11 子曰^し、「賜^{イヤ}也[。]、非^ニ爾^{なんぢノ}所^ム及^{ナリ}也[。]」

爾^ニ 爾^ニ 前^ニ 及^ニ 力^ニ が及ぶ。能力でできる

(書)

(訳)

12 孟子^{まうし}対^{こたヘテ}曰^{いハク}、「是^{コノ}謀^{はかりごと}、非^ニ吾^{わガ}所^ム能^{ヨク}及^{ナリ}也[。]」

(書)

(訳)

兕 一本角の動物

6 正と不正とを判断する心が無ければ――。〈孟子〉

7 これ(私が負けたの)は天が私を滅ぼそうとしているのであって、――。〈史記〉

8 あの人の人付き合いは、――。だからあらゆる福が自然と集まる。〈春秋左氏伝〉

9 孔子が言うには、「詩経で言うことには、『――、それなのに広い荒野を引き回されている。』と。〈十八史略〉

10 皇太子の通は、――。〈十八史略〉

11 (弟子の賜が生き方の抱負を語ったところ、) 孔子先生が言うには、「賜よ、それは――。」と。〈論語〉

12 相談された孟子が答えて言うには、「この戦略は――。」と。〈孟子〉

13 沈猶行曰、「是非汝所知也。」
ちんいうかういハク
これ□□なんぢノ□ルなり

（書）

汝 お前達 知 分かる

（訳）

14 公明高曰、「是非爾所知也。」
こうめいかういハク
これ□□なんぢノ□ルなりト

（書）

爾 お前 知 分かる

（訳）

15 有_レ備_レ無_レ患。患 心配事

（書）

（訳）

16 左右皆泣、莫_二能_一仰視。能_二…できる_一 仰視 顔を上げて見る

（書）

（訳）

13 沈猶行が言うには、「――」。〈孟子〉

14 公明高が言うには、「――」。〈孟子〉

15 あらかじめ準備をしていれば、――。〈書経〉

16 側近たちは皆泣き、――。〈史記・四面楚歌〉